



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
 コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼マネージャー (氏名) 徳野順一

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,419	4.5	85	30.8	88	27.3	94	
29年3月期第3四半期	2,533	4.0	65	67.1	69	65.8	0	99.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 39百万円 (93.9%) 29年3月期第3四半期 20百万円 (82.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	22.79	
29年3月期第3四半期	0.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,414	5,574	86.9
29年3月期	6,593	5,838	88.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,574百万円 29年3月期 5,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		40.00	40.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,554	2.9	344	91.5	350	89.8	206	228.8	48.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	4,536,000 株	29年3月期	4,536,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	401,212 株	29年3月期	250,712 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	4,164,888 株	29年3月期3Q	4,305,652 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に概ね緩やかに回復しました。しかし、賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加、米国のトランプ政権の政策運営・北朝鮮情勢の緊迫化など海外情勢の不透明感から景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、顧客の学習塾選別の目がさらに厳しくなっており、資本・業務提携等の動きが続いております。大学入試制度改革や教材の電子化等が進んでおり、新たな入試ノウハウや教材化等の対応を迫られております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、「体験と学習」の実践の場として理科実験授業や農業体験等を積極的に進めることと並行して既存教室の生産効率の見直しを徹底してまいりました。また、インターネットを活用した会員数増加のための仕組みづくりに取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高24億19百万円（前年同期比1億14百万円減）となりました。

利益面につきましては、営業利益85百万円（前年同期比20百万円増）、経常利益88百万円（前年同期比19百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益94百万円（前年同期比93百万円増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は6,269名（前年同期比1.9%増）となりました。この結果、売上高は16億97百万円（前年同期比39百万円増）となり、セグメント利益は1億3百万円（前年同期比5百万円減）となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業につきましては、子会社である株式会社日本体験センターを含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は7,905名（前年同期比19.4%減）となり、売上高は4億43百万円（前年同期比1億9百万円減）、セグメント利益は28百万円（前年同期比50百万円減）となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億65百万円（前年同期比18百万円減）、セグメント損失は40百万円（前年同期はセグメント損失31百万円）となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億15百万円（前年同期比26百万円減）、セグメント損失は4百万円（前年同期はセグメント損失90百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は51億61百万円（前連結会計年度末比2億35百万円減）となりました。

これは主に、現金及び預金が2億26百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は12億52百万円（前連結会計年度末比56百万円増）となりました。

これは主に、有形固定資産が11百万円増加したことと、投資その他の資産が44百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は7億24百万円（前連結会計年度末比99百万円増）となりました。

これは主に、短期借入金が60百万円増加したことと、その他（前受金）が42百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億14百万円(前連結会計年度末比15百万円減)となりました。

これは主に、退職給付に係る負債が7百万円増加したことと、繰延税金負債が24百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は55億74百万円(前連結会計年度末比2億63百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が76百万円減少したことと、自己株式の取得により純資産合計が1億32百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日付で公表いたしました通期の連結業績予想を変更していません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

「参考」個別業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日付で公表いたしました通期の個別業績予想を変更していません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,135,268	4,908,815
受取手形及び売掛金	15,858	12,916
商品及び製品	113,158	103,963
原材料及び貯蔵品	13,967	15,011
その他	119,313	121,134
流動資産合計	5,397,566	5,161,842
固定資産		
有形固定資産	331,359	343,294
無形固定資産	35,846	35,151
投資その他の資産	828,922	873,759
固定資産合計	1,196,128	1,252,205
資産合計	6,593,695	6,414,048
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,069	20,846
短期借入金	250,000	310,000
未払法人税等	36,868	40,938
賞与引当金	55,737	57,850
その他	248,635	295,104
流動負債合計	625,310	724,739
固定負債		
退職給付に係る負債	76,018	83,768
資産除去債務	16,244	17,597
繰延税金負債	24,657	164
その他	12,803	13,022
固定負債合計	129,723	114,552
負債合計	755,033	839,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,758,767	5,682,276
自己株式	△238,853	△370,992
株主資本合計	5,762,314	5,553,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,920	2,134
為替換算調整勘定	18,426	18,937
その他の包括利益累計額合計	76,347	21,072
純資産合計	5,838,661	5,574,756
負債純資産合計	6,593,695	6,414,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,533,967	2,419,329
売上原価	1,751,663	1,612,662
売上総利益	782,303	806,667
販売費及び一般管理費	716,623	720,758
営業利益	65,680	85,908
営業外収益		
受取利息	710	721
受取配当金	3,264	4,647
受取賃貸料	1,407	1,259
その他	1,617	1,040
営業外収益合計	7,000	7,670
営業外費用		
支払利息	2,636	2,643
投資有価証券評価損	—	1,876
その他	167	98
営業外費用合計	2,804	4,618
経常利益	69,876	88,960
特別利益		
固定資産売却益	2,549	—
投資有価証券売却益	—	77,341
特別利益合計	2,549	77,341
特別損失		
固定資産除却損	1,543	4,402
減損損失	31,545	—
特別損失合計	33,089	4,402
税金等調整前四半期純利益	39,336	161,899
法人税等	38,393	66,979
四半期純利益	943	94,920
親会社株主に帰属する四半期純利益	943	94,920

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	943	94,920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,366	△55,786
為替換算調整勘定	△6,867	510
その他の包括利益合計	19,498	△55,275
四半期包括利益	20,442	39,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,442	39,644
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,657,889	552,842	184,057	2,394,788	139,178	2,533,967	—	2,533,967
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	3,255	3,255	△3,255	—
計	1,657,889	552,842	184,057	2,394,788	142,434	2,537,222	△3,255	2,533,967
セグメント利益又 は損失(△)	108,478	78,692	△31,260	155,910	△90,229	65,680	—	65,680

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントの焼肉店事業において、当初想定していた収益が見込めなくなったことにより、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては31,545千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,697,177	443,461	165,166	2,305,805	113,524	2,419,329	—	2,419,329
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	2,397	2,397	△2,397	—
計	1,697,177	443,461	165,166	2,305,805	115,922	2,421,727	△2,397	2,419,329
セグメント利益又 は損失(△)	103,160	28,432	△40,713	90,879	△4,971	85,908	—	85,908

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。